

表 スリランカの有力大学の一例				
	大学名	大学紹介	日本語教育	ウェブサイト
1	コロンボ大学 (University of Colombo)	コロンボ大学はコロンボ市内に位置する、スリランカで最も権威のある総合大学のひとつ。日本の東京大学や中国の北京大学、韓国のソウル国立大学などアジアの15大学をメンバーとするアジア大学連盟（Asia University Alliance）の一員。学部生数は1万2,474人、大学院生数は7,575人（2022年時点）。教養学部、教育学部、法学部、経営学部、医学部、看護学部、伝統医学部、理学部、工学部の9学部と大学院がある。日本語教育にも力を入れており、学生は専攻にとらわれずに初級の日本語を学ぶことができる。また現在、オンラインでの日本語コースを準備している。実学も重視し、インターンシップの受講を卒業要件とするプログラムも実施している。	あり	https://cmb.ac.lk/
2	ペラデニヤ大学 (University of Peradeniya)	ペラデニヤ大学は古都キャンディ郊外にある国立大学で、コロンボ大学とともにスリランカの最難関校のひとつ。米国のスタンフォード大学に似た広大なキャンパスで1万4,181人の学部生、1万140人の大学院生が学んでいる（2023年時点）。農学部、医療衛生学部、教養学部、歯学部、工学部、経営学部、医学部、理学部、獣医・生物学部の9学部と大学院を持ち、それぞれの学部の主要な教授は日本での留学経験を持つ。日本の政府開発援助（ODA）により、歯学部が建設された。インターンシップの受講を卒業要件とするプログラムも実施している。	あり ※日本語教育や文化の理解を促進するために学内に「Sri Lanka-Japan Study Centre」を設立	https://www.pdn.ac.lk/
3	ケラニヤ大学 (University of Kelaniya)	ケラニヤ大学は、コロンボ近郊のケラニヤに位置するスリランカの有力国立大学の一つ。学部生数は15,390人、大学院生数は3,316人（2023年時点）。商学・経営学部、コンピューティング・テクノロジー学部、人文学部、医学部、理学部、社会科学部の6学部および大学院がある。ケラニヤ大学日本語科はスリランカの高等教育機関の中で最も長い日本語教育の歴史を持つ。スリランカ国内では最も有力な日本語教育機関として知られており、国際交流基金から日本語専門家を受け入れ、中級以上の日本語教育を提供する。	あり	https://www.kln.ac.lk/
4	モラトゥワ大学 (University of Moratuwa)	モラトゥワ大学は、コロンボ近郊のモラトゥワに位置する、スリランカの有力理工系国立大学。工学部、建築学部、情報技術学部、ビジネス学部、医学部の5学部と大学院を持つ。学生数は1万918。デジタル分野の人材も多く輩出しており、情報技術分野では、コロンボ大学に並び最も入学競争が激しい大学となっている。	なし	https://uom.lk/
5	ジョン・コテラワラ将軍 防衛大学 (General Sir John Kotelawala Defence University)	ジョン・コテラワラ将軍防衛大学（通称：KDU大学）は、1981年に軍人向けアカデミーとして設立され、2007年に総合大学として改組したスリランカの国防省傘下の政府系大学。コロンボ近郊のデヒワラに位置しており、現在は文民が学生の約7割、軍人が学生の約3割を占める。国防戦略学部、工学部、法学部、経営・社会科学・人文学部、医学部、保健科学部、コンピュータ学部、建築環境・空間科学部、技術学部、刑事司法学部の10学部および大学院を持つ。7,657人の学部生、1,531人の大学院生が在籍（2021年時点）。学部ごとにキャリアフェア（就職説明会）を実施している。インターンシップの受講を卒業要件とするプログラムも実施している。大学には日本語の授業も提供しており、複数の教員が日本語と文化などを教えている。現在90名の学生が受講する。	あり ※日本語教育や文化の理解を促進するために学内に「Nippon-Lanka Collaboration Centre」を設立	https://kdu.ac.lk/
6	スリランカ日本情報科学 大学 (Lanka Nippon Biz-Tech Institute)	スリランカ日本情報科学大学（通称：LNBTI）は、神奈川県川崎市のソフトウェア開発会社メタテクノ社と現地IT企業のhSenid社が出資し、2016年にコロンボ近郊のマハラガマに開校した私立大学。2022年にスリランカ政府より「UCG Honors Degree（ソフトウェア工学）」のコースが日本の4年制大学に相当する高等教育機関（Degree awarding Institute）として認定された。また英グリニッジ大学よりUoG Honors Degree（情報システム）を得られるコースもある。いずれも4年課程でITと日本語・ビジネス文化を学ぶ。授業は英語・日本語で行われ、卒業者はN2レベルの日本語能力習得を推奨している。4年制大学となって初めての卒業生が2025年12月に誕生する見込み。	あり	https://lnbti.lk/

（出所）各大学へのヒアリング、各大学のウェブサイト、国際交流基金「日本語専門家 派遣先情報・レポート」よりジェトロ作成